

県の婦人会議に

参加して。

婦人問題を考える

「女性ばかり勉強して、気がついて振り返ったら男がはるか後にいたとならないように、二人で成長するのが本当の愛である。」の発言にうなづく顔、顔。

「エノ男と女が違っているんじゃない？」とポカンとしている私。

これは先日、埼玉県国立婦人会館で開かれた全国婦人教育交流集会のひとつです。

「私にとっての再教育——自己再



ママさん特派員
上西 睦子

子供に手がからなくなつて、ホッとする時が四十代。現在、女性の平均寿命は八十歳を超えていますから、後四十年近くも生きなければなりません。この辺で、妻、母として



熊本県婦人会議
— 県政の方向と婦人の役割 —

発見のための機会と方法——」をテーマに全国各地から八十名の参加者が討論したこの集会で、私は前向きに学ぼうとする女性たちのエネルギーに圧倒されてしまいました。

の生き方の他に、もう一度じっくり自分を見直してみようと思っていた私には、良い刺激になりました。

「思い立ったが吉日」と言われるように、勉強のスタートは幾つになつても一向に構わないでしよう。学ぶ場は探せばどこにもあります。私的な学習グループ、カルチャーセンター、行政によってセツトされた機会等…。

最近私は、熊本県が婦人問題にどのように取り組んでいるのか興味を持って、県主催の婦人リーダー研修会、婦人問題シンポジウム、熊本県婦人会議の三つの会議に参加してみました。その際感じたことをまとめてみました。

家庭の主婦にも機会を与えて欲しい

県で企画されるいろいろな行事に、どの婦人団体にも属さない家庭の主婦が参加できるものが少ないというところが残念です。特に、婦人問題を考え勉強する中で大きな柱となっている熊本県婦人会議、婦人海外派遣事業等がありますが、これは参加者が婦人団体の代表に限られているようです。そこで、一般公募という形で、関

学んだことを生かしたい

昭和五十七年から始まった婦人リーダー研修会は専門家による十四回の講座を開いて、法律から文化の話まで、婦人問題を幅広く、かつ深く掘り下げています。参加者は、ここで学んだ多くのものを、それぞれの地域、グループで活用していくこと

心や意欲のある家庭の主婦にも参加の道を開いたらどうでしょう。広く門戸を開くこと

によって、家庭の主婦の婦人問題に対する意識も向上することと思えます。



婦人問題シンポジウム

ママさんの

県政ルポ



婦人の国際交流(婦人のつばさ)

ところで、県では、政策方針決定に婦人の参加を考慮しているそうですが、将来、ここで学んだメンバーから、そういう機会に参加できる婦人が出てくれば良いと思うのです。学んだことを社会に生かせる場を作ることによって、一つの企画が単発で終わることなく、一層その価値を高めることとしてしよう。

また、三月二十七日「婦人の声を政策へ」と婦人団体のリーダーが意見交換を行った熊本県婦人会議では、「審議会委員や管理職にもっと女性を登用して欲しい」と強い要望が出されましたが、県としてもこの要望



熊本県婦人リーダー研修講座

熊本県婦人リーダー研修講座

に心えていくことが望まれます。行事には積極的なPRを

「今、何を問うべきか。私の視点をテーマに開かれたシンポジウムは、五人の各分野の専門家が講演やパネルディスカッションを行い、婦人問題をいろいろな角度から考える有意義な会でした。その他、昭和五十五年から県立女子大学で夏休み期間に開かれている婦人大学講座では、生活、食文化、一般教養の講座三十五時間を終了された方が、すでに四百名を超えているそうです。今後もぜひ続けて欲しいという多くの主婦の声を聞いています。各市町村、公民館が開かれている婦人学級の状況を

把握して、小さな単位では開けない大きな行事を、県が今後も積極的に企画していくことを期待しますが、その際、家庭の主婦が気軽に参加できるように、これまで以上に新聞、テレビ等で大いにPRしていただきたいと思えます。

「人間とはケチな動物で、持って生まれた能力の一〇〇%位しか使わないで死んでしまう」と聞いたことがあります。それではあと九〇%の能力が眠っているのだと考えると楽しくなります。

どんな能力があるかは、あれこれと試してみなければなりません。それには、とにかく興味や関心の対象を広く持ち、あらゆる機会に積極的に参加することが近道でしょう。

県主催の

婦人問題に関する主な行事

▷方針決定への参加促進

●県婦人会議

開催時期 11月下旬
参加者 各種婦人団体のリーダー(60人)
内容 婦人団体代表の結集の下、婦人の地位向上について討議

▷広報啓発の充実強化

●婦人週間記念講演会

開催時期 4月～5月 場所 熊本市内
参加者 20歳以上の男女400人

●婦人問題シンポジウム

開催時期 9月下旬 場所 熊本市内
参加者 婦人問題に関心のある人500人程度
内容 基調講演とパネルディスカッション

●婦人リーダー研修講座

開催時期 1月～2月 場所 県北地域(本年度予定)
参加者 地域、職場で婦人問題に取り組んでいる婦人50人
内容 婦人問題に関する14講座

●婦人大学講座

(本年度予定)
開催時期 7月12日～9月5日(17日間、35時間)
場所 県立熊本女子大学
参加者 65歳未満の婦人(学生を除く)100人
内容 衣食住に関する講座など17講座

▷婦人の国際交流の推進

「婦人のつばさ」、「婦人教育指導者海外研修」



婦人の国際交流(婦人のつばさ)